

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2021年12月2日(木)
NO. 1226号
本号3頁

岸田政権の軍拡と改憲をストップさせよう 院内集会開催

大軍拡、改憲の動きが強まる下で、「許すな！岸田政権の大軍拡・改憲路線 大軍拡に反対する院内集会」が予算編成期の12月1日、参議院議員会館内で開催されました。主催は、憲法会議、安保破棄中央実行委員会、日本平和委員会、国民大運動実行委員会、憲法共同センターの5団体。

主催者あいさつで、小田川義和憲法共同センター共同代表は、岸田政権の軍拡と改憲をストップさせなければならないと述べ、「大軍拡に反対するたたかいは、共闘の基本的課題であり、参院選に向けてたたかいを進めよう」と呼びかけました。

日本共産党の井上哲士参院議員が情勢報告し、岸田政権が補正予算で軍事費7738億円、合わせて今年度6兆円の軍拡や9条改憲など安倍政権を継承する政権だと指摘し、「世論を広げ、この政権を倒す運動を進めよう」と訴えました。

神戸女学院大学の石川康宏教授が講演し、総選挙結果について総選挙で野党共闘は奮闘したと述べ、「自民党政治の転換には共闘が不可欠だ」と述べ、来年7月の参院選に向けた準備を進めようと呼びかけました。また、「岸田首相が安全保障環境が厳しさを増しているというなら、なぜ緊急の緩和をしないのか」と指摘し、岸田政権の軍拡と対中国を想定した軍事演習など日米軍事一体化、安保法制発動と憲法破壊の「戦争する国づくり」を厳しく批判しました。



その後、全商連の中山眞常任理事、全日本民医連の山本淑子事務局次長、新婦人の油原通江さん、沖縄県統一連の瀬長和男事務局長がとりくみを報告し、「軍拡ではなく業者支援を」「軍拡ではなく医療充実を」等と訴えました。

山本さんは、来年度予算で社会保障費を抑制することを狙い、財務省が診療報酬の「マイナス改定」を主張していると指摘。一方で岸田政権が戦争政策を強化しようとしていると述べ、大軍拡路線に反対すると表明しました。そして、医療機関への財政支援、診療報酬抜本改定こそ必要だと訴えました。新婦人の油原さんは、行きづらい社会を変えようと女性が声を上げ行動し、「生理の貧困」などで国や自治体を動かしてきたと報告。改憲を許さない新署名にもとりくみ、「憲法を土台にさまざまな要求実現を」と声を上げ、仲間を大きく増やすとりくみを進めていくと語りました。

主催団体の日本平和委員会の千坂純事務局長、憲法会議の高橋信一事務局長、安保破棄の東森英男事務局長が発言。千坂氏は前日の三沢基地の米軍F16戦闘機のタンク投下事故について、「住民の生活を脅かすものであり、断固として原因究明、飛行停止、F16撤去を求めていこう」と呼びかけました。高橋は岸田政権が改憲に向け、「憲法改正推進本部」を「憲法改正実現本部」と名称を変えるなど党内の体制を強化し、また維新の会などが憲法審査会開催を求めるなど、改憲に向けた新たな危険な事態となっていると報告し、「憲法改悪を許さない全国署名」のとりくみを呼びかけました。

憲法審査会開催するのであれば、

国民投票法のCMや運動資金を規制する再改正では?!

憲法審査会を開催すべきとの主張が目立っています。憲法審査会は「憲法改正原案、日本国憲法に係る改正の発議又は国民投票に関する法律案等を審査する機関」であり、審査会での議論は改憲原案づくりに直結するおそれがあります。様々な世論調査で明確のように、国民は改憲を望んでいません。ですから、憲法審査会を開催すべきではありません。

しかし、開催するならば、まずやらなければならないのは改憲論議ではなく、国民投票法の再改正ではないでしょうか。

第204回通常国会で、突然立憲民主党が5月6日、今後「3年をめど」にCMや運動資金を規制する措置を行うとの「修正案」を提出しました。自民党の二階俊博、立憲民主党の福山哲郎両幹事長が6日、国会内で会談し、二階氏が「修正案」を与党が受け入れることを伝えました。改正案は同日の衆院憲法審査会で採決、可決され、11日の衆院本会議で成立しました。

その後、参議院憲法審査会では、衆院憲法審査会に改正案を出した自民議員と、「修正案」を出した立憲の山花議員、奥野議員らが出席し、審議されました。そのなかで、立憲の「修正案」に自民党が合意しましたが、両党の見解の違い等が指摘されました。奥野氏は「3年間はCM規制等の法的対応がなされない限り、改憲発議はできない」等と主張。自民党の中谷氏らは「可能」との見解を示しました。

また、参院では参院憲法審査会の参考人質疑で、与党推薦の上田健介近畿大教授は、改正案をめぐる国会での議論について「熟議にはなっていないのではないか」との見解を示すなど、与野党推薦の4名の参考人全員が広告規制の議論の必要性に触れるなど改正案の不十分差を指摘しました。

では、なぜ、立憲民主党は「修正案」を出したのか。それは、当面はCM規制などのテーマが優先され、発議に向けた改憲議論が具体化しない形を狙ったからです。立憲民主党は「憲法の議論を否定するわけではない」（福山幹事長）と主張しますが、改憲に反対する議員も少なくありません。2017年に枝野幸男代表が旧立民を立ち上げて以来の岩盤支持層も反対が多くいます。改正案が成立すれば改憲議論が加速すると警戒し、昨年まで立民は改正案審議を拒んできました。ただ、「法案修正」で状況が変わったとみたようです。立民の奥野総一郎・衆院憲法審幹事は、記者団に『「3年丸々かける」ではなく『最長3年』と法律上理解できる』と解説しました。CM規制などを規定する再改正を速やかに行えば改憲議論に本腰を入れられるはずですが、同党の山花郁夫幹事は「いまだに（CM規制などについて）私ども以外の政党から具体的なプランが提起されていない」とし、3年程度を要する公算が大きいとの見通しを示しました。

枝野氏は、CM規制の規定がない国民投票法は「欠陥法」だと指摘し「ルールが敷かれていないのにどういう列車を走らせるか議論しても意味がない」と強調しました。再改正を行わない限り改憲議論を本格化させない構えでした。

共産党 「憲法改悪を許さない全国署名」1000万の規模でとりくむ方針決定!

日本共産党は27日に、第4回中央委員会総会を開催し、総選挙の総括等を行うとともに「草の根からの要求運動で岸田政権を包囲し、政権交代を国民多数の声に」と、たたかいの課題をあげ、その中に、憲法を守れ、生かせる掲げた草の根からの国民的大運動を呼びかけました。その中で、「憲法改悪を許さない 全国署名」を日本共産党としても位置づけ、5月3日を節に1000万の規模でとりくむとしています。以下、この議案です。

「9条守れ、憲法生かせ」を掲げ、草の根からの国民的な大運動を

「9条守れ、憲法生かせ」の国民的な運動で、憲法破壊のくわだてを止めることであります。

憲法9条改憲への危険な新局面が生まれています。岸田首相は、11月10日の記者会見で、憲法改定の実現にむけ、「党内の体制を強化すること」「国会における精力的な議論を進めること」を指示するなど、前のめりの発言を繰り返しています。「敵基地攻撃能力の保有」、GDP（国内総生産）比2%への軍事費の増額など、自衛隊を海外派兵型の軍隊につくりかえる大軍拡が進められようとしています。維新の会と国民民主党が、「憲法改定論議の加速」で合意し、自民党の改憲策動を応援・後押ししていることも重大であります。

今起こっている動きの狙いが、9条改憲の国会発議であることは明らかです。総選挙で、自民党は「自衛隊の明記」をはじめ改憲4項目を公約に掲げています。維新の会も、「憲法9条について、正面から改正議論を行う」ことを公約に掲げました。9条を改定し、海外で何の制約もなく戦争をする国づくりをすすめ、東アジアの平和と安定に重大な逆流と危険をつくりだすくらみを、絶対に許してはなりません。

野党共通政策には「コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する」ことを明記しています。この国民への公約にそくして市民と野党の共同のたたかいを発展させることを訴えます。

「9条改憲NO！ 全国市民アクション」が呼びかけた新しい憲法署名——「憲法改悪を許さない全国署名」を日本共産党としても位置づけ、5月3日を節に1000万の規模でとりくもうではありませんか。改憲勢力の策動に対して、「9条守れ、憲法生かせ」を掲げ、草の根からの国民的な大運動で応えることを、第4回中央委員会総会として心から呼びかけるものであります。

大阪・西淀川 一戸一戸訪ねて、新「憲法改悪を許さない全国署名」集める

大阪市西淀川区の「戦争あかん！西淀川実行委員会」は28日、「改憲NO！全国市民アクション」と「総がかり行動実行委員会」が呼びかけた「憲法改悪を許さない全国署名」を地域に入って集めました。

参加者は5組に分かれて御幣島（みてじま）6丁目の市営住宅を戸別訪問。総選挙後の9条改憲の危険な動きを伝え、協力を呼びかけました。

「先の戦争で父親が中国で戦死し、顔も知らない。戦争は絶対にあかん」と協力する人や、「憲法9条についてよく知らない」と言っていた若い父親が署名に応じるなど1時間余りで新署名58人分、政府に核兵器禁止条約の批准・署名を求める署名55人分が集まりました。

行動前の打ち合わせで門谷充男実行委員長が「多くの人に改憲の急な動きを知らせていくことが求められている」とあいさつ。日本共産党の北山良三元大阪市議が「改憲の突撃隊となっている維新の会発祥の大阪で、草の根から声を上げ、来夏の参院選で野党共闘をさらに強め、憲法を守る政治にしていけるために重要な行動」と強調しました。

12月6日 二つの行動 是非ご参加ください!!

◇国会開会日行動

憲法改悪反対！辺野古新基地建設反対！敵基地攻撃能力保有反対！

いのちと暮らしと営業をまもれ！12・6臨時国会開会日行動

時間：12時～12時45分

場所：衆議院第2議員会館前路上

共催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

9条改憲NO！全国市民アクション 共謀罪NO！実行委員会

◇12・6「秘密保護法」強行採決から8年

情報公開法・公文書管理法の抜本的改正を求める市民の集い

■とき 12月6日(月) 18時30分～

■ところ 文京区男女平等センター